

漁海況月報

平成27年8月7日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況予測

(1) 現況

8月6日の人工衛星画像によると、黒潮は潮岬に接岸し、北緯31度付近まで南下したあと北上し、野島崎沖から東に向かって流れています。

石廊崎沖から渥美外海沖へ暖水波及が見られ、沿岸では潮は西向きに流れている模様です。

(2) 予想

黒潮の流量が低下しており、流路が不安定となっています。

このため、黒潮は蛇行傾向が強まると考えられ、石廊崎方面から渥美外海への暖水波及は断続的に発生するものと考えています。

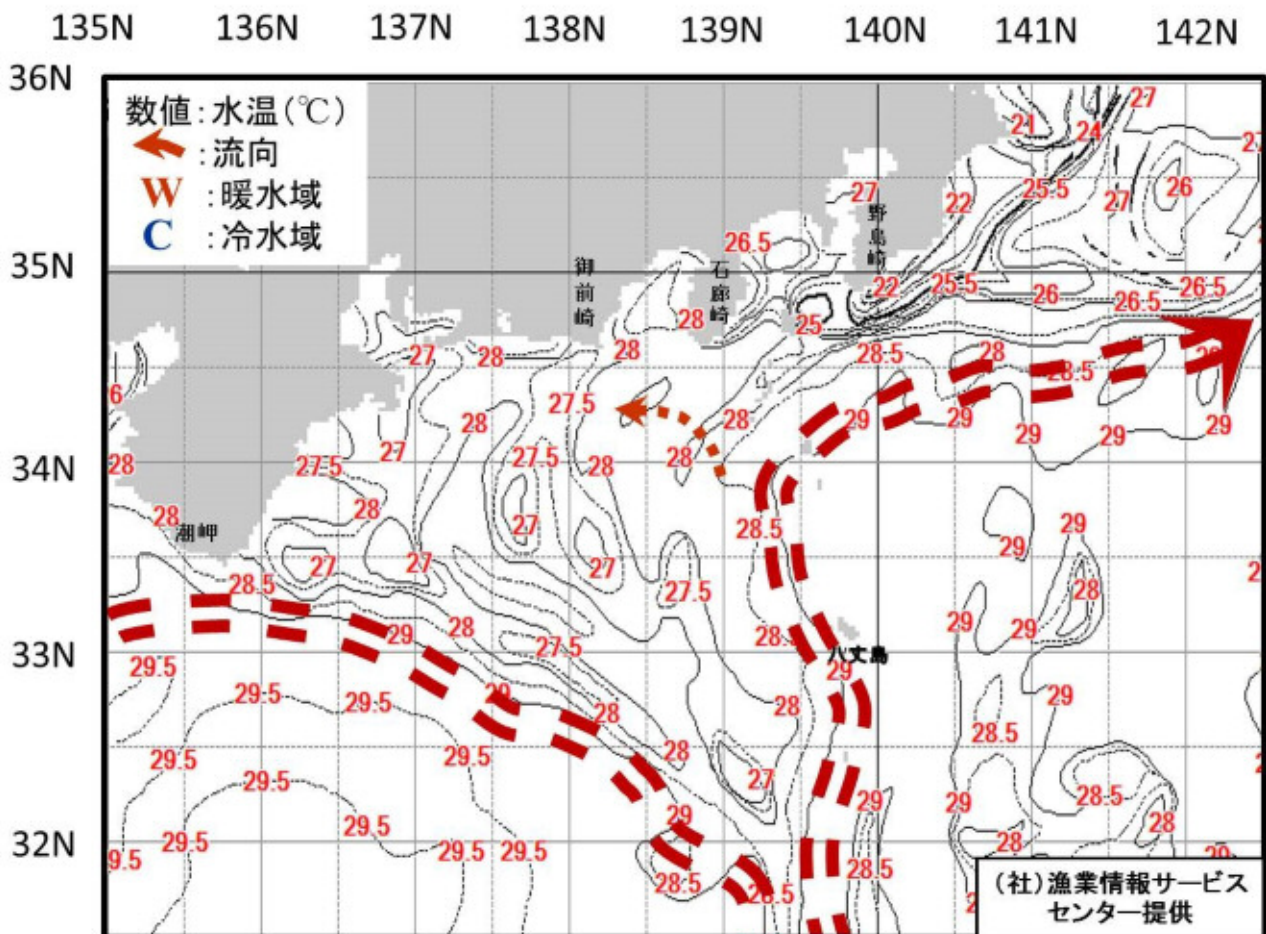


図1 海況の現況[2015年8月6日]

2 イワシ類長期予報（平成27年8月～12月）

今後12月までの太平洋海域におけるイワシ類の長期予報が、本県を含む関係機関による検討を経て、8月3日に水産庁から発表されました。このうち、本県および周辺海域の予報は以下のとおりとなっています。

(1) 8～12月シラス（渥美外海～駿河湾）

伊勢・三河湾～駿河湾では前年並。

予測期間の黒潮流路はC型で推移し、11月以降、渥美外海は安定して冷水域に覆われる予測です。このため、伊勢湾内の産卵水準は低いものの、海況的にはシラスの来遊がある程度期待される状況と考えられ、渥美外海への来遊量は前年並と予測されています。また、遠州灘～駿河湾では、過去の漁獲動向から前年並と予測されています。

(2) 8～12月カタクチイワシ（伊勢・三河湾～渥美外海）

熊野灘では前年を上回る。伊勢・三河湾～渥美外海、駿河湾、相模湾では前年並み。

太平洋海域全体の資源量は減少傾向であり、2013年級群が低調であることから、漁獲の主体は0～1歳魚となる予測されます。

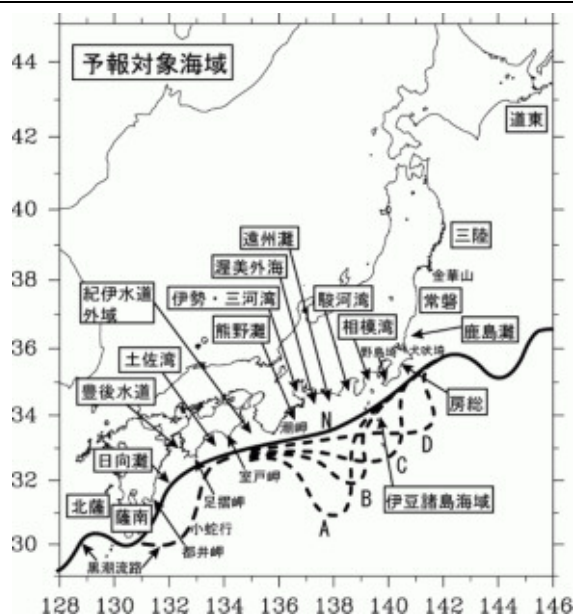
伊勢・三河湾～渥美外海では、春季のシラス漁獲が好調でしたが、伊勢湾内では、9月まで主体となる1歳魚の湾内への来遊が今期も期待できず、総じて来遊量は好調であった前年並～下回ると予測されています。

(3) 8～12月マイワシ（伊勢・三河湾～相模湾）

伊勢・三河湾～駿河湾では前年を上回る。

例年、伊勢・三河湾では、その年の冬～春に生まれた0歳の未成魚を主体に漁獲しています。

愛知県での平成27年4～6月までのマシラス漁獲量は740tと高水準であったことから、主体となる0歳魚は平年を上回ると予想されます。



3 イワシ類

シラスは、6月末以降、沖合域から渥美外海への暖水8波及が強まると同時に来遊も減少し、7月はわずか40tの漁獲となり、昨年同様低調な結果となりました。

一方、未成魚、成魚については、当初内湾で、その後、伊勢湾口付近で操業が継続的に行われています。

(1) シラス

台風による操業見合わせもあり、7月の県内漁獲量は約40トンで、同じ時期としては、昨年は上回りましたが、平年を大きく下回りました。

操業は、外海で行われていました。

単価はカゴ(約20kg)あたり月平均で20,505円となり、昨年同月(15,364円)を上回っています。

表1 愛知県シラス類漁獲量

(単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	7	440	753	256	220	782	1,642	365	39	4,503
2011	1	0	0	169	583	1,168	1,219	517	677	547	478	279	5,637
2012	9	0	0	110	444	832	1,383	1,167	679	1,142	496	181	6,443
2013	4	0	0	723	1,667	374	250	295	1,248	322	353	127	5,363
2014	0	0	0	594	2,828	527	18	891	672	1,400	592	236	7,758
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40						5,747
10年平均	5	0	7	409	1,357	971	644	654	647	676	381	147	5,900

7月のカタクチイワシ卵の採集数は、外海で横ばい、伊勢湾で減少しており、総じて低調でした。

静岡県沖のシラス漁は、引き続き低調に推移しています。また、黒潮からの暖水波及も強めであることから、外海からの来遊量も少ない状況となっています。

現在、黒潮の流れは不安定となっており、暖水波及の状況が変化しています。

以上のことから、渥美外海へのシラスの来遊は散発的な状況となるものと予測されます。

表2 カタクチイワシ卵の採集数

渥美外海の卵採集数(15点合計)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	0	0	欠測	135	1,393	246	105	221	45	1	3	0	2,149
2013	0	0	320	102	340	388	159	20	4	0	0	0	1,333
2014	0	0	149	1,071	329	20	37	114	249	59	4	0	2,032
2015	0	2	703	15	1	112	126						959
平均(過去5年)	0	0	176	1,952	1,044	787	473	408	11	1	14	1	4,760

伊勢湾の卵採集数(15点合計)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	N	N	N	4	512	1,094	1,945	1,424	417	3	15	N	5,414
2013	N	N	N	0	30	1,237	4,764	1,366	876	9	42	N	8,324
2014	N	N	N	10	502	221	733	164	88	315	291	N	2,324
2015	N	N	N	1	191	160	30						382
平均(過去5年)	N	N	N	9	729	3,441	3,857	1,908	383	84	81	N	10,491

(2) マイワシ (成魚・未成魚)

7月上旬までは、伊勢・三河湾から外海までの広い範囲で操業していましたが、中旬以降、操業の主体は外海となっています。

現在の漁獲の中心は、0歳魚で、ごくわずかに1歳魚も混じっています。

春のシラスの来遊量が比較的豊富であったため、今後もまとまった漁獲が期待できると予測されます。

表3 愛知県マイワシ漁獲量

(単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	0	0	2	288	653	675	247	17	0	1,881
2011	0	0	1	0	2	29	361	1,223	1,091	264	68	4	3,044
2012	0	0	0	0	0	72	49	499	214	52	0	0	886
2013	0	0	0	0	1	8	107	577	295	3	0	0	992
2014	0	0	0	<1	0	104	269	1,547	1,334	617	422	180	4,474
2015	76	78	0	0	0	4	2,271						2,429
10年平均	0	1	0	0	1	32	167	568	423	165	72	24	1,006

(3) カタクチイワシ (成魚・未成魚)

7月上旬までは、内湾のカタクチイワシを漁獲していましたが、中旬以降、操業の主体は外海となり、漁獲量は減少しています。

このため、7月の県内におけるカタクチイワシの水揚げは2,169トンで、昨年の40%、平年の55%となりました。

伊勢湾への1歳魚の来遊は期待できないことから、しばらくの間はまとまった漁獲量にはならないと予測されます。

表4 愛知県カタクチイワシ漁獲量

(単位：トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2010	0	0	0	0	1	1,529	4,844	4,819	1,775	590	1,497	973	16,028
2011	37	92	116	561	768	1,945	3,610	4,935	572	159	294	401	13,491
2012	46	0	0	260	1,471	1,792	1,824	3,704	2,197	483	851	354	12,983
2013	0	0	0	0	803	2,680	4,794	5,382	2,382	1,082	2,811	1,768	21,702
2014	446	0	0	655	269	2,864	5,389	3,742	3,009	2,609	1,971	703	21,657
2015	231	226	0	131	0	286	2,169						3,043
10年平均	61	25	12	214	738	1,861	3,926	4,091	2,398	1,526	1,312	737	16,899